

天理教少年会活動方針

「日々に陽気ぐらしを実践し、その喜びを子供たちに伝えよう」

少年会本部は今年、標題のように「活動方針」を掲げ、これを実現するための教会、支部、直属団・教区団それぞれが取り組む「重点項目」を示しました。

その中、支部に対しては「支部ひのきしん活動の実施と家族ぐるみの参加」を呼び掛け、「地域の少年会員が集まる器として、支部でのひのきしんの機会を作り、家族ぐるみで参加するよう促していく」としています。

そして、実施に際しては、少年会員の代表が大人も含む全参加者の前で「はじめの言葉」を読み、毎回ひのきしんの意義を心に刻んで取り組むよう促しています。

大島支部では早速、4月7日からこれを実行。加世田汰さんが元気に読み上げました。



少年会ひのきしん はじめの言葉

みなさん、おはようございます（こんにちは）。

今日は、これからみんなでひのきしんをします。

ひのきしんとは、親神様への感謝の気持ちを態度にあらわすことを言います。

私たちの身体は親神様からのかりものです。

そして親神様のおかげで、毎日元気に楽しく過ごすことができるのです。

親神様に「ありがとうございます」という気持ちを込めて、元気にひのきしんをさせていただきますよう。

Heart clean campaign

ひのきしんで 街も心も美しく



4月 1日(月)

奄美市笠利町
屋仁共同墓地

榮安文教会長、松岡實教会会長・松岡みどり(大屋仁)、

…以上の皆さん(順不同・敬称略)

参加者募集中

最近、参加される顔ぶれが決まってきました。
どうぞ声かけあって、家族ぐるみで御参加下さい!

4月 7日(日)

奄美市名瀬うどん浜公園

加世田誠・加世田辰郎・加世田陽子・加世田勇・雪田清光・加世田汰少(大島)、金田敬子教会会長(名瀬港)、惠松郎(大屋仁)、川畑辰一・重宗勝義(芦大熊)、田畑美奈子(大仲町)。…以上の皆さん(順不同・敬称略)

